



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月13日

上場会社名 株式会社リプロセル 上場取引所 東
 コード番号 4978 URL https://www.reprocell.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横山 周史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 片山 浩美 TEL 045-475-3887
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	334	4.0	△411	—	△324	—	△327	—
26年3月期第3四半期	321	—	△69	—	△101	—	△101	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 △355百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 △101百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△6.60	—
26年3月期第3四半期	△2.41	—

※1. 当社は、平成25年9月1日付で株式1株につき5株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	7,697	7,129	92.6	138.06
26年3月期	5,418	5,195	94.7	107.34

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 7,129百万円 26年3月期 5,133百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	699	51.8	△298	—	△188	—	△192	—	△3.88

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）有
新規 1社 （社名）Reinnervate Limited

（注）詳細は、添付資料「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	51,640,050株	26年3月期	48,400,050株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	250株	26年3月期	250株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	49,637,036株	26年3月期3Q	42,327,140株

※当社は、平成25年9月1日付で株式1株につき5株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 営業外収益並びに営業外費用の発生に関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

京都大学の山中伸弥教授がノーベル医学生理学賞を受賞したことを契機として、iPS細胞の研究及び実用化促進へ向けた機運は高まっております。一方、当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策等の効果に対する期待感により設備投資の増加や雇用・賃金の持ち直し等の傾向が見られたものの、消費税率の引き上げや円安による原材料等の輸入コストの上昇により、景気の回復は緩やかなものに留まっております。

また、iPS細胞及び再生医療は政府の成長戦略の一つとして掲げられており、iPS細胞に関連した基礎及び臨床の研究者が増加しております。さらに、「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」並びに「薬事法等の一部を改正する法律」が平成26年11月25日に施行されたことにより、再生医療の事業化に向けた気運が高まりつつあります。

このような状況の下、当社グループにおいては、iPS細胞事業の主力製品である研究試薬製品及び細胞製品について、研究開発活動を強化しております。当社のグループ企業として、3次元培養デバイスの開発・製造・販売を手掛ける英国のグループ企業Reinnervate Limited及びヒト生体試料のバンキング・提供を行う米国のグループ企業BioServe Biotechnologies, Ltd.に加え、最先端のiPS細胞試薬を手掛ける米国企業Stemgentが新たにグループの中核を担うこととなりました。グループ企業3社との連携によって、商品ラインナップの大幅な拡充や、世界的な研究ネットワークの構築、世界規模の販売チャンネルが確保され、弊社グループの優位性を強力に際立たせることとなりました。すでに相互の顧客基盤を活用した各社製品の相互販売が開始され、グローバル展開を推し進めております。また、国内外の未上場のiPS細胞・再生医療関連のバイオベンチャーを投資対象とする、新生銀行との共同ベンチャーファンド「Cell Innovation Partners, L.P.」の運営が開始されており、世界中の革新的な技術シーズの確保と育成、そして連携を図り、当社の再生医療の実現と競争力の強化に向けた取り組みに注力しております。

一方、臨床検査事業では、主力検査である抗HLA抗体検査の検査数を順調に伸ばすとともに、新たな臨床検査項目の導入に向けた取り組みを行うと共に、一般社団法人 日本血液製剤機構が実施する臨床試験に係わる臨床検査測定の実務業務にも取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は334,121千円（前年同四半期比12,729千円の増加）、営業損失は411,997千円（前年同四半期 69,762千円の損失）、経常損失は324,687千円（前年同四半期 101,316千円の損失）、四半期純損失は327,834千円（前年同四半期 101,930千円の損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① iPS細胞事業

研究試薬製品は、主力製品であるPrimate ES cell mediumを中心として、大学及び公的研究機関を中心に継続的に販売実績を積み重ね、さらに新規顧客も増加傾向にあり、売上は堅調に推移しております。一方、細胞製品については、心筋、神経、肝臓、アルツハイマー病神経細胞を販売しておりますが、製薬企業を中心として着実に顧客層が広がっております。また、3次元培養デバイスの開発・製造・販売を手掛ける英国のグループ企業Reinnervate Limitedやヒト生体試料のバンキング及び提供を行う米国のグループ企業BioServe Biotechnologies, Ltd.、さらには最先端のiPS細胞試薬を手掛ける米国のグループ企業Stemgentといったグループ企業を通じた海外販路の活用並びに各社製品の相互販売に向けた取り組みがスタートしております。

この結果、売上高は291,944千円、セグメント利益は△53,642千円となりました。

② 臨床検査事業

肝臓移植や造血幹細胞移植の分野への適用の広がりを見せている抗HLA抗体検査（スクリーニング及びシングル抗原同定検査）を主力として、日本全国の100施設以上の病院から検査を受注しております。また、腎移植における脱感作療法としての治験薬の有効性を確認することを目的として一般社団法人 日本血液製剤機構が実施する臨床試験に係わる臨床検査測定の実務業務を受託しており、当社は本治験における脱感作確認（ドナーに対する抗体の有無）の検査を担当しております。こうした検査業務を通じ同一患者様の全ての検査をまとめて行うことにより、整合性のとれた確度の高いデータを提供することで顧客ニーズに応えることができました。以上の内容により、売上は堅調に推移しております。

この結果、売上高は42,176千円、セグメント利益は13,037千円となりました。

なお、管理部門にかかる費用など各事業セグメントに配分していない全社費用が284,083千円あります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は前連結会計年度末に比べて352,364千円増加し、5,695,776千円となりました。主な内訳は、現金及び預金の減少1,822,366千円、有価証券の増加1,999,758千円であります。固定資産は前連結会計年度末に比べて1,926,675千円増加し、2,001,925千円となりました。主な内訳は、無形固定資産の増加1,869,007千円であります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は前連結会計年度末に比べて344,714千円増加し、480,280千円となりました。主な内訳は、短期借入金の増加188,322千円、未払金の増加110,935千円であります。固定負債は前連結会計年度末に比べて98千円増加し、87,959千円となりました。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は7,129,462千円となりました。主な内訳は、資本金が3,809,604千円、資本剰余金が4,693,048千円であります。

(3) 営業外収益並びに営業外費用の発生に関する説明

当第3四半期連結累計期間におきまして、為替相場の変動により営業外収益として為替差益55,504千円を計上すると共に、営業外費用として株式交付費15,964千円、投資事業組合運用損3,496千円、持分法投資損失2,603千円を計上しております。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期通期連結業績予想について、平成26年5月26日に発表しました業績予想を平成26年11月12日に修正しております。平成26年11月12日以降におきまして、当該業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、Reinnervate Limitedの株式を取得し、子会社化したため、連結の範囲に含めております。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、当第3四半期連結累計期間において、BioServe Biotechnologies, Ltd.の株式を取得し、子会社化したため、連結の範囲に含めております。

また、Stemgent, Inc. (ReproCELL USA Inc.より商号変更)は事業譲受によりiPS細胞事業部門を譲り受けております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(連結子会社の事業年度等に関する事項)

従来、連結子会社のStemgent, Inc. (ReproCELL USA Inc.より商号変更。決算日は12月31日。)は連結決算日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しておりましたが、Stemgent, Inc. (現 Asterand Bioscience, Inc.)からiPS細胞事業を譲り受けたことにより、当該連結子会社の決算日の財務諸表を利用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について必要な調整を行う方法に変更しました。

当第3四半期連結累計期間は、平成26年4月1日から平成26年9月30日(平成26年10月1日付けの事業譲受取引を含む)までの6ヶ月間を連結しております。

連結子会社であるReinnervate Limitedは、決算日を6月30日から3月31日に変更し、連結決算日と同一となっております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,170,835	3,348,469
売掛金	67,225	99,966
有価証券	—	1,999,758
商品及び製品	60,948	123,677
仕掛品	1,111	32,352
原材料及び貯蔵品	7,358	12,918
その他	35,931	78,634
流動資産合計	5,343,411	5,695,776
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,491	10,623
機械装置及び運搬具（純額）	813	2,198
工具、器具及び備品（純額）	6,039	26,486
有形固定資産合計	16,344	39,308
無形固定資産		
特許権	2,256	53,094
のれん	—	1,818,309
その他	597	457
無形固定資産合計	2,854	1,871,861
投資その他の資産		
投資有価証券	50,050	76,476
その他	6,000	14,278
投資その他の資産合計	56,050	90,755
固定資産合計	75,249	2,001,925
資産合計	5,418,661	7,697,702
負債の部		
流動負債		
買掛金	48,779	39,222
短期借入金	—	188,322
未払金	20,445	131,380
未払法人税等	12,267	5,661
賞与引当金	3,943	3,254
その他	50,129	112,438
流動負債合計	135,566	480,280
固定負債		
長期借入金	80,000	80,000
資産除去債務	6,688	6,770
その他	1,172	1,188
固定負債合計	87,860	87,959
負債合計	223,427	568,240

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,634,084	3,809,604
資本剰余金	3,517,528	4,693,048
利益剰余金	△1,019,564	△1,347,399
自己株式	△915	△915
株主資本合計	5,131,134	7,154,339
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,300	△24,953
その他有価証券評価差額金	—	76
その他の包括利益累計額合計	2,300	△24,877
新株予約権	61,800	—
純資産合計	5,195,234	7,129,462
負債純資産合計	5,418,661	7,697,702

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高		
製品売上高	278,341	276,994
役務収益	43,051	57,127
売上高合計	321,392	334,121
売上原価		
製品売上原価	122,609	149,695
役務原価	16,507	21,324
支払ロイヤリティ	2,814	1,512
売上原価合計	141,930	172,531
売上総利益	179,461	161,590
販売費及び一般管理費		
研究開発費	84,641	150,306
その他の販売費及び一般管理費	164,583	423,281
販売費及び一般管理費合計	249,224	573,587
営業損失(△)	△69,762	△411,997
営業外収益		
受取利息	90	4,681
補助金収入	11,276	51,273
為替差益	3,326	55,504
その他	196	1,835
営業外収益合計	14,889	113,294
営業外費用		
支払利息	241	3,555
株式公開費用	20,440	—
株式交付費	25,535	15,964
投資事業組合運用損	—	3,496
持分法による投資損失	—	2,603
その他	226	364
営業外費用合計	46,443	25,985
経常損失(△)	△101,316	△324,687
税金等調整前四半期純損失(△)	△101,316	△324,687
法人税、住民税及び事業税	802	3,130
法人税等調整額	△188	16
法人税等合計	614	3,147
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△101,930	△327,834
四半期純損失(△)	△101,930	△327,834

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△101,930	△327,834
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,897	△27,253
その他有価証券評価差額金	—	76
その他の包括利益合計	1,897	△27,177
四半期包括利益	△100,033	△355,012
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△100,033	△355,012
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年6月27日、平成26年9月4日、平成26年10月6日、平成26年10月24日及び平成26年12月4日を払込期日とする有償第三者割当による新株発行による払込みを受けました。また、当第3四半期連結累計期間において新株予約権の行使による払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,175,520千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が3,809,604千円、資本剰余金が4,693,048千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	iPS細胞事業	臨床検査事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	284,401	36,991	321,392	—	321,392
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	284,401	36,991	321,392	—	321,392
セグメント利益	42,374	15,941	58,315	△159,631	△101,316

(注) 1 セグメント利益の調整額△159,631千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	iPS細胞事業	臨床検査事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	291,944	42,176	334,121	—	334,121
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	291,944	42,176	334,121	—	334,121
セグメント利益	△53,642	13,037	△40,604	△284,083	△324,687

(注) 1 セグメント利益の調整額△284,083千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、Reinnervate Limited及びBioServe Biotechnologies, Ltd.の株式を取得すると共に、Stemgent, Inc.のiPS細胞事業を譲り受けたことにより、新たに連結の範囲に含めております。これ

により、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの資産の金額は、「iPS細胞事業」において160,134千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(のれんの金額の重要な変動)

「iPS細胞事業」セグメントにおいて、Reinnervate Limited及びBioServe Biotechnologies, Ltd.を子会社化したこと並びにStemgent, Inc.のiPS細胞事業を譲り受けたことにより、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては1,818,309千円であります。